

なかつがわ

市の花 サラサドウダン

令和8年 中津川市議会 5月臨時会・6月定例会



第9回 清流木曽川 中津川リレーマラソン大会

5月24日に開催され全国から関係者を含め200チーム約5,000人が参加



ゲスト参加のタレント森脇健児さん



総合優勝の飯田下伊那駅伝部

目次

議会の構成	②
5月臨時会議案	③
6月定例会議案	③
予算決算委員会報告	④
常任委員会報告	⑥
一般質問	⑦
令和7年度各会派の政務活動費による取組報告	⑪
令和8年度各会派の取り組み	⑬
編集後記他	⑯

トピックス

- 議会の新体制が決まりました
5月の臨時会において、議長、副議長をはじめとする議会の役職等が決まりました。(2ページ)
- 「予告」議場システムに関する満足度アンケート実施について(2ページ)
- 令和8年度 各会派の取り組み
(13ページ)

5月臨時会				議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください	
	議案番号	件名(内容)	委員会審査		議決結果
			付託	審査結果	
報告	報第4号	専決処分の承認を求めることについて	—	—	承認 (全会一致)
人事	議第38号	中津川市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	—	—	同意 (全会一致)
その他	議第39号	財産の取得について (災害時の避難環境改善のための移動式エアコン20式)	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第40号	財産の取得について (姫川分室の水槽付消防ポンプ自動車1台)	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第41号	財産の取得について (中消防署の高規格救急自動車1台)	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第42号	財産の取得について (中津分団第4部及び坂下分団第1部の消防ポンプ自動車2台)	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第43号	財産の取得について (市内小中学校のネットワーク機器473台)	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

6月定例会				議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください	
	議案番号	件名(内容)	委員会審査		議決結果
			付託	審査結果	
報告	報第5号	繰越明許費繰越計算書の報告について (一般会計：リニア駅周辺土地地区画整理事業等 計41事業)	—	—	—
	報第6号	繰越計算書の報告について (上水道施設改良事業、上水道施設災害復旧事業 計2事業)	—	—	—
	報第7号	繰越計算書の報告について (下水道整備事業(坂本処理区)、下水道施設長寿命化対策事業等 計5事業)	—	—	—
陳情	陳情第9号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	文	—	—
条例	議第48号	中津川市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
人事	議第49号 議第67号	中津川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて(全19名)	—	—	同意 (全会一致)
補正予算	議第44号	令和8年度中津川市一般会計補正予算(第1号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第45号	令和8年度中津川市一般会計補正予算(第2号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第46号	令和8年度中津川市水道事業会計補正予算(第1号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第47号	令和8年度中津川市下水道事業会計補正予算(第1号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第73号	令和8年度中津川市一般会計補正予算(第3号)	予	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
その他	議第68号	工事請負契約の変更について (南・東・西小学校、第一・第二中学校特別教室空調設備設置 変圧器の基準改定等に伴う増額)	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第69号	工事請負契約の変更について (苗木・坂下・落合小学校/中学校、特別教室空調設備設置 変圧器の基準改定等に伴う増額)	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第70号	工事請負契約の変更について (坂本・阿木・姫川小学校/中学校、特別教室空調機器の機種変更に伴う減額)	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第71号	工事請負契約の変更について (加子母・付知北・付知南小学校、加子母・付知・港中学校 特別教室空調設備設置 変圧器の基準改定等に伴う増額)	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第72号	財産の取得について (教師用校務系パソコン90台)	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派	中津川自民クラブ												公明	市民ク	共産	9	コ	ネ	無	議決結果
		氏名	鷹見 憲三	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	吉村 俊廣	島崎 保人	吉村 孝志	長谷川 透	宮嶋 寿明	林 友義	田口 文数								
議第73号	令和8年度中津川市一般会計補正予算(第3号)		賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛

※公明：市議会公明党、市民ク：市民クラブ、共産：日本共産党、9：中津川9の会、ネ：市民ネット、無：なかつがわ無派閥の会

議会だより ③ なかつがわ

議会の構成





【議長】吉村 孝志 【副議長】柳松 直子 【監査委員】牛田 敬一

正副議長
あいさつは
こちら↓



《常任委員会・議会運営委員会》◎＝委員長、○＝副委員長

	委員会	氏 名									
常任委員会	総務企画委員会 (6人)	◎林 友義 吉村 孝志	○宮嶋 寿明 長谷川 透	糸魚川伸一		田中 愛子					
	文教民生委員会 (7人)	◎黒田とこ 鷹見 憲三	○勝 彰 柳松 直子	吉村 浩平	木下 律子		島崎 保人				
	産業建設委員会 (7人)	◎松崎 誠 鷹見 信義	○田口 文数 岡崎 隆彦	牛田 敬一	吉村 俊廣		小池 菜摘				
	予算決算委員会 (20人)	◎宮嶋 寿明 鷹見 信義 岡崎 隆彦 島崎 保人 松崎 誠	○糸魚川伸一 憲三	柳松 直子	田口 文数	勝 彰		影 律子			
			鷹見 浩平 吉村 孝志 黒田とこ 田中 愛子	牛田 敬一 吉村 孝志 小池 菜摘	田口 俊廣 吉村 長谷川 透	木下 林 友義					
議会運営委員会(6人)		◎長谷川 透 田口 文数	○島崎 保人 宮嶋 寿明	松崎 誠		田中 愛子					

《特別委員会》◎＝委員長、○＝副委員長

特別委員会	氏名				設置目的
リニア中央新幹線対策 特別委員会(7人)	◎勝 彰 鷹見 牛田 敬一	○小池 菜摘 柳松 直子 宮嶋 寿明	田口 文数		リニア中央新幹線駅及び同車輻基地の周辺整備並びに地域高規格道路建設促進に関する調査研究を行うものとする。
議会改革 特別委員会(6人)	◎岡崎 隆彦 吉村 浩平 松崎 誠	○田中 愛子 島崎 保人	林 友義		議会改革に関する調査研究を行うものとする。
病院・医療等対策 特別委員会(7人)	◎吉村 俊廣 鷹見 吉村 孝志	○長谷川 透 木下 律子 糸魚川伸一	黒田とこ		公立病院等の運営体制及び地域医療対策に関する調査研究を行うものとする。

「予告」議場システムに関する満足度アンケート実施

中津川市議会では9月定例会にて、新しく導入した「議場システム」によるインターネット配信と「議会・議員活動」に対する満足度のご意見をお伺いするため、映像配信をご覧になった方にネットアンケートを実施します。皆様のご協力をお願いいたします。

※詳しくは、中津川市のホームページ「中津川市議会映像配信」をご覧ください。




市議会の様子を映像配信しています。

中津川市議会の本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継と録画映像をご覧ください。

●録画映像
録画映像を、会議名・会議日・議員名・フリーワードの条件で検索して視聴できます。

●ライブ中継
本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継を視聴できます。

●録画映像
録画映像を、会議名・会議日・議員名・フリーワードの条件で検索して視聴できます。

パソコンの他、スマートフォン、タブレットでの視聴も可能です。

議会だより ② なかつがわ

陳情

陳情第 9 号 公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

【陳情理由】

中学生は、社会の仕組みや歴史、政治、国際関係について本格的に学び始める時期であり、将来の主権者として社会の課題を主体的に考え判断する力を育むことが求められます。中学校における平和教育及び修学旅行・校外学習は、その重要な役割を果たしています。

平和教育の学習内容が特定の見解に偏った場合、生徒の歴史認識や社会認識に影響を与えるおそれがあります。いわゆる「偏向教育」との疑念を招くことのないよう、特に平和教育においては結論ありきの指導を避け、事実を基にした政治的中立性と、生徒が発達段階に応じて多面的・多角的に考え、主体的に判断できる学びを確保することが重要です。

教育基本法第14条は、政治的教養を尊重する一方で、学校が特定の政党を支持し、又は反対するための政治教育その他政治的活動を行うことを禁じています。

本陳情を通し、中学校における平和教育の政治的中立性や修学旅行・校外学習の安全管理について点検を求める背景には、令和8年3月16日、沖縄県名護市辺野古沖において、修学旅行中の高校生らが乗船した船舶が転覆し、生徒1名と船長1名が死亡し、14名が負傷した痛ましい事故があります。

亡くなられた生徒さんの御遺族は、事故当日の経過について、インターネット上で公表されています。保護者にとって、修学旅行や校外学習は、学校を信頼して大切な子供を預ける教育活動であり、その信頼に込めるために、十分な安全確認と説明責任が求められます。

さらに御遺族は、沖縄や辺野古は、平和、戦争、命、歴史、基地、国防、日米関係などを考えることができる場所である一方、偏った情報を一方的に与えるのであれば、それは平和教育とはいえない趣旨の思いも綴られています。これは、生徒が多様な情報に触れ、多面的に考える教育であってほしいという保護者の願いと受け止めるべきです。

文部科学省は、令和8年4月7日付で「学校における校外活動の安全確保の徹底等について（通知）」を発出し、校外活動の安全性や実施内容の確認、児童生徒・保護者への十分な説明、学校主体の安全確保、船舶利用時の許認可事業者の選定等を求めています。また、大阪府教育庁は、同事故を受け、過去3年間の国内修学旅行・宿泊研修について、安全性、実施内容、事故で船舶を運航していた市民団体との関わり、教育活動における中立性等の調査を実施しました。

なお、辺野古移設反対を呼びかける「辺野古基金」の賛同団体として、愛知公立校等学校職員組合をはじめ、名称上確認できる教職員組合系団体が各都道府県あわせて300団体以上確認できます。これらには、高等学校教職員組合だけでなく、一般に小中学校の教職員を含むと考えられる教職員組合系団体も含まれます。教育現場に関係する団体が特定の政治的運動に賛同している事実は、平和学習や校外学習における政治的中立性への配慮を改めて確認する必要性を示すものです。

以上、貴自治体において、公立中学校における平和教育及び修学旅行・校外学習の政治的中立性、適正性、安全性を確保するため、下記のとおり陳情いたします。

【陳情項目】

①公立中学校における平和教育の政治的中立性に関する基本方針を確認すること。

教育基本法第14条の趣旨に沿い、教師の指導内容、使用教材、外部講師・語り部・市民団体等の招へい又は関与が、特定の政党・政治団体・政治運動の立場に偏ることのないよう確認すること。また、生徒が発達段階に応じて、事実を基に諸資料や多様な情報を活用しながら、多面的・多角的に考え、主体的かつ公正に判断できる平和教育となるよう、教育委員会としての方針及び学校への指導上の留意事項を改めて確認すること。

②保護者への説明責任と修学旅行・校外学習の安全管理を徹底すること。

修学旅行・校外学習の目的、訪問先、活動内容、移動手段、外部関係者の関与、安全管理体制について、保護者に事前に十分説明すること。あわせて、文部科学省通知の趣旨を踏まえ、行程及び活動内容に応じた危険性の事前把握、事業者の安全管理体制の確認、緊急時対応及び引率体制の徹底を図ること。

③過去の修学旅行・平和学習等の記録を確認すること。

教育委員会又は学校に保存されている過去3年間の計画書、実施要項、実施報告等を確認すること。そのうえで、修学旅行・校外学習及び校内の平和学習について、特定の政治的主張に沿った活動現場への訪問、関連団体等の関与など、保護者の視点から見て、政治的中立性又は安全管理上の懸念が残る教育活動がなかったかを確認すること。

④③に基づき懸念が残る事例については、必要な実態把握を行うこと。

③により、該当又はその疑いのある事例が確認された場合は、学校及び関係者への聞き取りを行い、活動内容、生徒に対する特定の政治的活動への参加・賛同の働きかけの有無、安全管理、保護者への説明、政治的中立性への配慮について実態を把握すること。その結果を、今後の指導及び改善に生かすこと。

文教民生委員会所見

平和教育に関して、命の大切さ、命の尊厳を学ぶ大切な教育だと捉えております。これまでも中津川市教育委員会では、平和教育の政治的中立性において法令を遵守し事実に基づいて取り組み、修学旅行や校外学習においては、子どもたちが自主的に何を学ぶかに取り組んでいるので大きな不安はないと考えます。今後も平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保について、今までと同様、引き続き継続して取り組んでほしいと考えます。

予算決算委員会報告（補正予算）

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの6月補正【概要】をご覧ください。



6月補正予算（その1）の概要

・一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1億584万3千円

令和9年4月坂下、川上、山口小学校の統合に向けた準備に要する経費

- (1) 学習環境を整える教室の環境整備工事等を実施(学校規模適正化推進事業(小学校))・・・76,311千円
・坂下小学校 学習環境整備工事・児童机の更新・大規模改修実施設計委託 等
- (2) スクールバスを購入(遠距離通学事業)・・・・・・・・・・・・・・・・29,532千円
・(川上方面) ワゴン車(10人乗り) 1台 (山口方面) 中型バス(45人乗り) 1台

6月補正予算（その2）の概要

・一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・△4,452万円

※水道事業会計及び下水道事業会計は収入のみの補正であり、予算規模に変動はありません。

①国・県補助金等を活用した事業

- (1)都市圏の住民等の交流と移住促進を支援(加子母“木と暮らしの循環”交流促進事業)・・・・2,000千円
- (2)生活保護システムを改修(生活保護総務事業)・・・・・・・・・・・・330千円
平成25年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえ、平成25年8月から令和8年3月分の追加給付となる対象者把握のためのシステム改修
- (3)スマート農業技術導入に補助(農地・担い手対策事業)・・・・・・・・4,050千円
岐阜県のスマート農業技術導入支援事業費補助金・直進アシスト機能付トラクター
- (4)畜産農家による生産基盤強化に補助(畜産振興対策事業)・・・・・・・・5,860千円
畜産農家への補助金の増額と、暑熱対策への補助金
- (5)福岡 B & G 海洋センターを改修(B & G 海洋センター運営事業)・・・・・・・・9,340千円
本部棟照明LED化工事・ミーティングルーム空調更新
- (6)ふるさと岐阜の魅力体験事業を実施(中津川市の未来を担う人材育成事業)・・・・・・・449千円
小・中学生がふるさと岐阜の魅力の新たな発見や体験をするために、文化芸術鑑賞や県内の自然、歴史、文化、産業等の施設を見学バス借上料等

②寄附金を財源とした備品購入等

- (1)公共施設整備運営基金へ積立(公共施設整備運営基金管理事業)・・・・・・・・3,500千円
- (2)元気づけづくり基金へ積立(交流事業)・・・・・・・・・・・・5,000千円
- (3)坂下中学校の備品等を購入(中学校運営事業)・・・・・・・・・・・・145千円
- (4)苗木小学校の図書を購入(小学校教育充実事業)・・・・・・・・110千円

③緊急対応が必要な事業

- (1)柵の湖ふれあい村の故障した浴室等の水中ポンプ取替工事・・・・・・・・2,458千円
- (2)アートピア付知交芸プラザの故障した排煙窓を改修・・・・・・・・1,980千円
- (3)水道事業会計繰出金事業・・・・・・・・・・・・5,258千円
下水道事業会計(公共分)繰出金事業・・・・・・・・5,000千円

④国庫補助対象事業の決定に伴う事業費の減額

- (1)国庫補助対象事業の決定に伴う減額(道路新設改良事業)・・・・・・・・△90,000千円
・社会資本整備総合交付金 山ノ田～地藏堂線、五ツ塚～中畑線

■企業会計分（収入の補正）

【水道事業会計】

- (1)一般会計からの繰出金の受け入れ(収益的収入)・・・・・・・・・・・・5,258千円
AI劣化診断及び漏水調査業務委託等デジタル技術を活用した水道管路調査費用の一般会計からの受け入れ

【下水道事業会計】

- (2)一般会計からの繰出金の受け入れ等(資本的収入)・・・・・・・・・・・・24,200千円
①下水道管路点検スクリーニング調査等デジタル技術を活用した下水道管路点検・調査費用の一般会計からの受け入れ
②令和8年度地方債同意基準に定める脱炭素化推進事業について、令和12年度まで延長となったため、当初予算に計上した対象事業に対する企業債の増額

6月補正予算（追加提出分）の概要

・一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・200万円

岐阜県東濃5市未来のまちづくり協議会負担金

リニア中央新幹線の開業を見据えた広域的かつ戦略的なまちづくりとして東濃5市で協議会を設立し、ビジネス交流による産業活性化の促進や企業・教育・研究機関との関係構築・誘致促進
・7月26日～28日に台湾を訪問し、台湾企業等とビジネスミーティングを実施

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は 11 人の議員が行ないました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



答

空き家の問題は多岐に渡り、その増加に伴い幅広い分野で大きな課題となることが予想され、担当部門で専門的な対応が必要があると考えますので、一つの窓口で対応を完結することは困難であると想定されます。
各担当部門の横の連携を強化し、例えば、いずれかを代表窓口とし、相談内容に応じて担当部門へ繋げるなど、相談者にとってわかりやすい窓口となるよう努めてまいります。(市民部長)

問

空き家対策について

宮嶋 寿明



空き家問題は、単に古い家が残っているというだけの問題ではなく、防災、衛生、福祉、資産税、都市計画などの複数の領域が絡み合っています。市民の皆様からの相談や通報に対し、問題の側面ごとに担当課が分かれています。

今後、更に空き家が増えると考えます。「フランストップ窓口」などを設置し、相談窓口を強化することが望ましいと思いますが、見解を伺います。

答

①固定電話を利用されている方に効果的なサービスだと考えますので、周知啓発に努めてまいります。
②すべての小中学校で、従前より情報モラルに関する指導を行っており、SNSによる被害や加害についても学んでいます。この中で特殊詐欺についても学んでいます。また、岐阜県警察等の啓発文書を見学生徒に配付する際には内容を確認するなど、見学生徒に啓発をおこなっています。(教育委員会事務局長)



問

特殊詐欺から市民を守る

田口 文数

巧妙化・多様化する特殊詐欺が増加しており、市民の財産を守るための対策が必要です。
①岐阜県警も推進している、国際電話の発信信を無償で休止する「甘みんとめ」を高齢者へ周知徹底してはどうかです。
②闇バイトに若者が巻き込まれる事案が増加しています。子どもたちを被害者にも加害者にもしない教育が必要です。市の取組をお聞きます。

常任委員会報告

政策提言書の
詳細はこちら
から→



市議会だより48号で報告を行った3常任委員会から中津川市への政策提言・申入れに対して、執行部より回答がありましたので、概要を報告します。

◆総務企画委員会

当市の魅力を活かした移住定住について

○移住定住支援の充実、若者の人口流出対策について

①通勤・通学支援策をJRと連携検討について

リニア開業で高まる地理的優位性をPRしつつ、JR東海の動向を注視し、関係部署と連携して通勤・通学支援策を検討します。

②ふるさと愛着育成と若者回帰支援の検討について

リニア開通による人の流入を見据え、ふるさと学習や域学連携などで愛着と誇りを育み、若者世代の地元回帰につなげます。

③通学費補助、送迎支援などの充実と近隣都市への通勤・通学補助の連携協議について
高校生バス通学補助を令和8年度から拡充しました。厳しい地域公共交通の存続も含め、効率的で利便性の高い公共交通を関係部署と協議して進めます。

◆文教民生委員会

○市民の健康づくりについて

①減塩及び慢性腎臓病(CKD)予防について

令和8年度4月から毎月1回減塩相談日を設けることにしました。その際、尿中ナトリウム・カリウム比検査を無料で実施します。
医師会と薬剤師会が連携して調剤薬局に設置している「減塩食品紹介コーナー」を令和8年度には全調剤薬局での設置を目指しています。

②歯周病予防について

乳幼児健診時に保護者の歯科健診を合わせて実施することは、子育て中の母親の歯科健診受診機会の確保につながります。歯科健診を委託している歯科医師会の協力を得られるよう、事業実現に向けて協議をすすめていきます。

③減塩・歯周病予防・慢性腎臓病予防に共通して、チラシ・ポスター作成、イベント等での啓発をさらに拡大していきます。

◆産業建設委員会

○農業経営の現状と課題について

①農業の後継者対策について

新規就農者の確保に取組み、法人化の情報提供、農地の集積等による効率的な営農体制の充実を図ります。
地域に応じた作物導入など地元農産物の活用推進に取組み、農業関係人口の創出に取組みます。

②資材の高騰及び初期投資等に対する助成拡大について

国・県の支援制度の活用推進や、市による経費負担の軽減支援を検討し、スマート農業の推進を図っていきます。

③遊休農地について

農地中間管理機構と連携し、農地の集積等に取組み農地利用の調整を図ります。
鳥獣害対策実施隊員の報酬見直し等による活動体制の維持と、効果的な被害防止対策を検討します。

事業の拡大や転換への支援 中京学院大学の跡地利用について

松崎 誠

航空宇宙や自動車などの先端技術開発が進む中、市内の企業単独では、国や民間企業の情報収集には限界があります。当市が情報収集と提供を担うことが今後の企業成長につながると思います。

市としては、国、県や他地域の動向、補助制度などの情報を収集し企業に提供するとともに、企業訪問などにおいて企業が求める情報やニーズの把握に努めてまいります。(商工観光部長)

令和9年度中京学院大学の移転まで9か月となり、校舎や研究施設などの大規模施設の活用について、市民の関心も高まっています。リニア中央新幹線の開業を見据え、市が主体となって所有することも1つの方策と考えます。

土地建物等については大学の所有物のため、利活用の最終的な決定権は大学にあります。現時点で市が主体となって所有することは考えていませんが、協議に引き続き参加し、必要に応じて申し入れなどをしていきます。(市長公室長)

障がい者家族の「18歳の壁」について

田中 愛子

高校卒業後の障がい者は、家庭での滞在時間が増え、保護者の就労継続が困難になる等18歳の壁が社会的な問題となっています。

①日中一時支援事業について、当市の国、県からの補助率を伺います。

②支援事業サービスの提供時間を延長できない理由を伺います。

③日中一時支援事業の支給量を増やすことを必要と認めた事例を伺います。

①地域生活支援事業全体における国県からの補助率は、令和7年度の実績で、国費22.4%、県費11.2%となっています。

②利用者の障害、支援区分や他のサービスの利用状況などを踏まえ、必要と認められる場合には、支給量を増やすことが可能です。

③他のサービスや家族の状況により預かりが必要となる場合や、重度障がい児で他のサービスが利用できず見守りが必要となる場合などのケースがあります。(医療福祉部長)

女性に選ばれ女性が活躍できるまちづくりに関して

糸魚川伸一

現在行っているキャリアデザインなどのセミナーに加え、聴く力・伝える力・質問・提案する力などを学ぶ機会を設けることで、地域で活躍できる人材育成につながると考えます。また、地元企業・会議所・地域団体・行政各課などとの連携、受講後も受講者同士が継続的につながりを設ける環境づくりも重要であると考えます。今まで行ってきた人材育成をさらに肉付け・体系化し、点であった施策を線とする総合力をもった人材育成を行ってはどうかと考えます。見解を伺います。

現在実施している人材育成講座やセミナーは、受講後の継続的な活動支援や個別のフォローアップを前提とした事業としては位置づけておりませんが、フォローアップは、セミナーの効果を検証することとなるため実施していきたいと考えています。また、受講者がなりたいた姿に向かって総合力を高め、将来ビジョンを描けるようなセミナー構成を研究します。(市民部長)

インクルーシブ社会について

鷹見 信義

①障がいのある人も多様な働き方が求められます。中津川市職員の障がい者雇用の現状と課題を伺います。

②障がいのあるなしに関わらず子どもと一緒に遊べるインクルーシブ遊具が設置されている公園が市内にあるか伺います。

③リニア新幹線駅周辺はインクルーシブ空間になるようですが、中津川駅周辺のまちづくりビジョンには、インクルーシブ空間は入っているか伺います。

①現状として、令和7年度に障がい者枠で2名を採用しています。課題として、募集しても応募が少ないことがあげられます。(市長公室長)

②インクルーシブ遊具設置の公園はありますが、今後の公園整備では、インクルーシブ遊具の設置も検討します。(建設部長)

③まちづくりビジョンには、インクルーシブ空間という表現を用いていませんが、理念の「みんな」という言葉にその考え方を表しています。(商工観光部長)

ふるさと愛を育む「木育」について

木下 律子

中津川市では、赤ちゃんから高齢者まで「木育」を取り入れ、自然と触れ合い、自然の良さを知ることが大切なことです。

①幼児教育の対象園、園児数を伺います。

②対象の学校数・児童生徒数を伺います。

③社会教育の取り組みを伺います。

④木遊館の来館者数を伺います。

⑤木製記念品の贈呈の内容を伺います。

⑥中津川市の「木育」の取り組みについて市長の感想や考えを伺います。

①市内全園の年長児が対象で、令和7年度は22園452名が参加しました。(環境水道部長)

②令和7年度は、小学校10校、中学校3校の計13校543人の児童生徒が木育を受けました。(教育委員会事務局長)

③公民館講座や、鉱物博物館、ひと・まちテラスでの講座や体験を実施しました。(文化スポーツ部長)

④令和7年度は12、132人です。

⑤誕生祝い品として「三ツ伐りカスターネット」、入園祝い品として「東濃ヒノキのマルチボウル」(小学校入学祝い品として「東濃ヒノキの箸箱」)を贈呈しています。(農林部長)

⑥「木育」は重要な取り組みであり、なかつがわ森の木遊館を拠点に、郷土愛を育む人材育成に取り組んでいきます。(市長)

脱炭素ゼロカーボンシティの達成に向けて

林 友義

市は2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」宣言を区長会連合会と共同で表明しています。

区長会連合会は目標を達成するため、毎年取組を定め積極的な活動が行われています。自治会でも2027年蛍光灯問題に直面し照明器具の更新は重要な課題ですが、器具の更新には多くの費用が必要で進まない状況です。自治会が管理する集会施設LED化への支援が必要と考えますが、市の見解を伺います。

ゼロカーボンシティの実現に向け、LED化支援の必要性は認識しています。

集会施設を管理する自治会等の事情もそれぞれ違うと考えられるため、まずは区長会連合会との意見交換により状況を把握したうえで、財政措置を含めた今後の方策を検討していきます。(市民部長)

令和7年度 各会派の政務活動費による取組報告

中津川自民クラブ

日 程:令和8年2月5日(木)
視察先:湖北広域行政事務センター(長浜市・米原市)
内 容:広域で運営されている新たな斎場建設運営について学ぶ。
成 果:両市では、管内の全自治体に公募要項を配布し、応募を検討されている自治会へ説明会を開催し、公募地域の受け入れ条件もよく聞き、候補地を決定していました。VFM事業方式やPFI方式の新しい運営方式を採用して運営されており、市民の評価も高い状況でした。

日 程:令和8年2月6日(金)
視察先:滋賀県草津市立クリーンセンター
内 容:広域(中津川市・恵那市)で建設する新環境センターの参考とする。
成 果:処理方法は、外部有識者で構成する検討委員会『安全で地球に配慮した施設』の考え方の基に、「環境保全」「資源化面」「処理安定面」「運転安全面」「コスト面」「維持管理面」の6観点で比較検討し、評価点が高い全連続燃焼式炉方式が採用されていました。
広い通路の見学コース・環境学習用スペース・飲食コーナー・見学者駐車場など市民が訪れ易い施設でした。

市議会公明党

日 程:令和8年1月27・28日(火・水)
視察先:兵庫県明石市・兵庫県川西市
内 容:市民にやさしいDXの取組について
・DX推進の基本方針・業務改革とプロセスの見直し・住民サービスのデジタル化・データ利活用・職員のデジタル人材育成・財政・コスト管理
成 果:DXの推進体制については、国の動向も踏まえ、コロナ禍を契機としてデジタル戦略の体制整備が進められており、副市長を本部長とする推進本部が設置されていました。マネジメントや意思決定を担う管理職に対しても研修が実施されており、全庁的な取組みとして自然に浸透している点が印象的でした。総合的に、本市においても大変参考となる取組みであると感じました。

市民クラブ

日 程:令和8年1月27・28日(火・水)
視察先:①兵庫県明石市 ②兵庫県川西市
内 容:①市民にやさしいDXの取組について
②DXの取組(直近5年)
成 果:①デジタル推進委員の成果を組織の財産と考えるだけでなく、成果を近隣や全国の自治体と共有できることは業務に対する自信の表れであり、当市においても横の繋がりを深めることが必要と考えます。
②テレワーク・ペーパーレスなどのデジタル技術を積極的に活用したことが、市民サービス向上だけでなく職員の働き方改革にも繋がっており、職員がメリットを感じられる進め方が必要であると考えます。

中津川市の観光振興および工業振興について

牛田 敬一

問

地域経済を支える観光振興と工業振興は、極めて重要な政策課題です。
①観光資源の十分な活用で、苗木城跡であれば、遠山氏ゆかりの史跡などが点在しており、新たな「見どころ」をつくるのも有効ではないかと考えますが見解を伺います。
②国・県の補助金申請は、中小・零細企業にとって、申請手続きが困難な状況と聞きます。それを支援する仕組みを検討できないか伺います。

答

①観光としては、史跡を個々に巡るだけでは必ずしも滞在や消費につながりにくい面もあることから、散策道のような見どころをつなぎ、周遊につながる形で活用していくことが重要と考えています。
②市独自の支援制度は考えておりませんが、市への問合せがあった際には、中津川市商工会議所、中津川北商工会ならびに公益財団法人岐阜県産業経済振興センターなどの各種支援窓口を紹介しています。(商工観光部長)



現行総合計画における坂本小学校校建設事業について

小池 菜摘

問

①坂本文教施設再配置に係る基本構想案の運用状況を伺います。
②検討状況や進捗について、説明責任があると考えますが、市としての認識を伺います。
③リニア開業に伴うまちづくり計画と、坂本地区の教育施設整備をどのように整合させているのか伺います。

答

①課題であった旧坂本幼稚園の移設・解体に伴う坂本小学校の敷地確保、並びに駐車場不足解消や緊急車両進入路の確保、坂本学校給食共同調理場建設場所の選定に活用しました。
②令和4年7月29日の坂本まち協教育文化部会にて、リニア開業後のまちの姿が想定できた時点で、全体の計画にあわせて改めて検討していくことで地域と合意した認識です。
③教育施設については、リニア駅周辺の整備と一時的に切り離し、リニア岐阜駅開業の影響や児童数の推移がみえてきたところで、地元のご意見も伺いながら進めていきます。(教育委員会事務局長)

問

道路整備に関連する数字について

黒田 ところ

駅への送迎車両と小中学生が行きかう美乃坂本駅周辺の朝夕の車や人の混雑は著しいものです。雨天時送迎車の列は長くなります。
①美乃坂本駅の踏切を通過してくる小中学生の人数を把握していますか。
②美乃坂本駅、豊協前からくらくら周辺までの車両通行台数を、晴天時、雨天時、平日、休日によって把握していますか。
③歩道も整備され拡幅された道路と中山道、交通量の多い高規格の2車線の道路を、優先道路にする考えはありませんか。

答

①小学生153名、中学生71名の計224名が美乃坂本駅の踏切を通過して、登下校をしています。(教育委員会事務局長)
②質問箇所の一般県道苗木恵那線の通行台数は把握していないことを岐阜県から聞いています。
③規制を担当する中津川警察署及び道路管理者である中津川市と岐阜県にて、規制の変更等について検討しています。(建設部長)



令和7年度 各会派の政務活動費収支

(単位:円)

使途基準	会派	中津川自民クラブ (11人→10人)	市議会公明党 (2人)	市民クラブ (2人)	日本共産党 (2人)	中津川9の会 (1人)	地域コネクト (1人)	市民ネット (1人)	なかつがわ無所属の会 (0人→1人)
調査研究費		897,840	46,251	46,250	0	0	0	23,125	0
研修費			0		0	0	103,453	70,500	0
広報費		0	0	0	217,977	0	0	0	0
広聴費		0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費		0	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費		0	0	0	0	0	0	0	0
合計額 ①		897,840	46,251	46,250	217,977	0	103,453	93,625	0
市交付額 ②		1,280,000	240,000	240,000	240,000	120,000	120,000	120,000	40,000
返還額 (②-①)		382,160	193,749	193,750	22,023	120,000	16,547	26,375	40,000

令和8年度 各会派の取組

中津川自民クラブ 10名

島崎保人 吉村浩平 宮嶋寿明 林 友義 鷹見憲三
勝 彰 岡崎隆彦 吉村俊廣 吉村孝志 長谷川透

持続的な市政発展への取組について

取組理由: リニア開業が当初の予定より遅れたことで、この期間を活用して諸課題解決や健全財政運営のために、議会としてのチェック機能の強化を図ります。

取組内容: 「リニアを活用したまちづくり構想」の実現に向けて、リニアの効果を最大限に活かす政策提言に取り組みます。
・リニア開業に向けた社会基盤整備の推進
・移住定住推進と企業の労働者不足に係る対策
・新ごみ処理施設や斎場などのインフラ整備の推進

市議会公明党 2名

田口文数 糸魚川伸一

持続可能な市政運営の取組について

取組理由: 物価高騰など市民の生活が苦しくなる中、行政サービスの低下がないように財政健全化が必要です。

取組内容: リニア中央新幹線開業に向けて宿場や歴史的資産を活かしたまちづくりに取り組み、市民の声を大切に要望、提言をしていきます。

市民クラブ 2名

松崎 誠 櫛松直子

持続可能な市政への取組について

取組理由: 人口減少が進む中で、身の丈に合った行政運営への移行が求められています。これまでに、消防指令の運用開始やごみ処理施設の協議が進められており、次の世代に向けた新しい行政運営により、持続可能な市政を進めることが出来ると考えます。

取組内容: 広域行政の調査研究

日本共産党

日 程: 令和8年1月～令和8年3月

項 目: 市民アンケート

内 容: 市民の声を取り上げ議会活動に活かすため、アンケートの作成、配布を行いました。内容は、子育て支援、人口減少対策、労働環境、防災、高齢者や障がい者福祉、医療、リニアなど中津川市の課題を幅広く調査をしました。

成 果: 全市に新聞折込みを中心に市民アンケートを配布しました。(アンケート結果は令和8年度中に集計し公開します。)

地域コネクト

日 程: 令和7年7月3日(木)

視察先: 東京ビッグサイト

内 容: 自治体・公共Week 2025

①自治体DX ②地域防災 ③インフラメンテナンス ④自治体向けサービスなどの情報収集。地域防災をメインにセミナー受講と最新の災害対策関連品を調査しました。

成 果: ・多くのボランティアが支援に来る反面、受援力が弱まってくる。
・顔見知りだけで頑張りたいと意識の変化がある。
このような現実を理解しながら接することが重要と感じました。自治体の防災力強化には、単に設備や備蓄だけでなく、住民の参加・ICTによる情報共有・多文化対応が不可欠であると認識しました。

日 程: 令和7年8月27日(水)

視察先: 第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

内 容: 地方議会議員のなり手不足問題について

①議員のなり手不足の背景について ②参画を阻む要因と改善策について

成 果: なり手不足は単なる人数の問題ではなく、議会が市民社会の多様性をどう反映するかという民主主義の根幹に関わる課題

①制度・環境整備(報酬・時間・制度)

②意識改革(議会の魅力発信・閉鎖性打破)

③多様な人材参画の具体策(女性・若者・兼業可能人材の参入促進)の実施が重要と感じました。

市民ネット

日 程: 令和7年8月27日(水)

視察先: 第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

内 容: ①令和5年地方自治法改正で地方議会及び議員の職務の明確化について

②地方議会における無関心や不信、投票率の低下、無投票当選や定員割れ等について

③多様な人材の参画を前提とした議会運営、住民に開かれた議会のための取り組み

④議員が十分に勉強できる環境整備、議員力・議会力の向上について

成 果: 中津川市議会だけでなく、全国の多くの議会が、同じような問題に直面していることがわかりました。解決策として開かれた議会を目指してしっかりと行動している具体的な事例の発表を聞くことができ、中津川市議会でも取り組みめることがあり、大変参考になりました。

政務活動費とは

政務活動費は、議員が調査や研究を行うための経費の一部として交付されるものです。研修への参加費や視察の旅費、資料の作成・購入などに活用され、会派の議員数に応じて、議員一人あたり年額12万円が会派に支給されます。

また、使い道の公正さと透明性を確保するため、会派ごとに収支報告書などを議長へ提出することが義務付けられています。

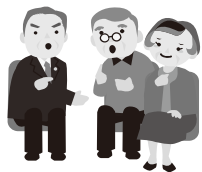
その内容は、議会のホームページなどを通じて市民の皆さまに公表しています。

市議会活動とその役割

市議会は、市民の暮らしに深く関わる大切な組織であり、地域の発展や生活の向上につながる役割を担っています。市民がその役割や活動を知るとは、将来の住みよいまちづくりにとって重要です。開かれた議会をめざすには議員は市民の代表として行政を監視し、市民の声を反映した政策を市に提言するなど、その役割は多岐にわたります。

予算の承認及び決算の認定

市の予算を審査し内容を確認して承認します。また、前年度の決算については、使い方が適正かを確認し、次の予算につながるよう認定します。



定例会

定期的に開かれる会議で、条例の制定や政策の検討、予算や決算など重要な議案を審査します。中津川市では年4回(3月、6月、9月、12月)開催し、必要に応じて臨時会も開いています。



委員会活動

担当する事業ごとに課題を詳しく審査する委員会を設け、付託された議案の内容を丁寧に確認し、細かな点まで審査しています。



議会活動

活動はさまざまな形でわれ、市民の皆さまの参加も積極的に促しています。「市民と議会の対話集会」で伺った声は、政策提言としてまとめ、今後の施策に反映させています。



行政監視

市の仕事が適切であることを確認し、透明性と責任ある行政運営につなげます。議員は市民の声を聞き、行政の取り組みを評価し、市民の利益を守るとともに、必要に応じて改善の提案を行います。



地域活動の支援

まちづくり協議会の運営やイベントなどに積極的に関わり、市民の皆さまと協力して地域の発展に取り組んでいます。



日本共産党 2名

田中愛子 木下律子

地域医療・福祉・子育て・雇用など、差別や格差をなくし、市民の命と暮らしを最優先にする市政について

取組理由：止まらない物価高騰などにより、市民生活は困難な状況が続いています。また、戦争危機の中で多くの市民が平和で、誰もが安心して暮らせる社会を願っています。

取組内容：市民アンケートの結果を公表します。市民要求に応えるため、先進自治体を調査し改善に向けて取り組みます。

中津川9の会 1名

鷹見信義

福祉・教育・子育て・防災・「命と暮らし」を守る市政について

取組理由：子育て支援・障がい者・高齢者福祉の充実、安心・安全な地域環境整備が課題です。現状を調査し対策を検討する必要があります。

取組内容：障がい者当事者として取り組みの具体策を調査し提言します。

地域コネクト 1名

牛田敬一

行財政改革の推進について

取組理由：限られた予算の中で効率的な取組ができているのか確認をします。

取組内容：①各種計画書の進捗状況を確認します。
②現地・現物・現実の意識で、市民目線の提言に努力します。

市民ネット 1名

黒田ところ

持続可能な地域を目指して①地域防災力の強化 ②行財政改革への理解と促進

取組理由：温暖化・異常気象による災害が増えています。急激な少子化で地域の維持が難しくなっています。住民理解のもと、行財政改革が必要です。

取組内容：自主防災会の組織強化と住民が運営する地域避難所マニュアル作成推進が必要です。地域の拠点化のための情報発信を進めます。

なかつがわ無派閥の会 1名

小池菜摘

市政を俯瞰し、具体的提案を続けます。

取組理由：市民の生命と財産を守り、市民一人ひとりが尊重されるまちを目指すとともに、リニア時代を見据えた、持続可能で開かれた市政を確立することを目指します。

取組内容：リニアのまちづくりに関する計画の具体化、安全管理上の特別な配慮を要する施設に対する規制の検討、多様性の確保とハラスメント撲滅に向けた環境整備、積極的なSNS発信を中心とした市政運営の見える化などに取り組みます。

令和8年 6月28日(日)

中津川市消防操法競技会



第1位 福岡分団第4部



第2位 中津分団



第3位 坂本分団

令和8年 6月19日(金)



表彰	氏名	氏名	氏名
最優秀賞	太田 もも (坂本中)	加藤 咲弥 (第一中)	原 柚妃 (坂下中)
優秀賞	佐々木実希 (苗木中)	山田 琳 (第二中)	早川 結月 (付知中)
優秀賞	細川ひまり (加子母中)	山名 結華 (落合中)	早川 想 (福岡中)
優秀賞	永治 宏陽 (蛭川中)	三宅 咲笑 (阿木中)	

議会開催状況 3月28日～6月30日

本会議	(5回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(3回)
産業建設委員会	(1回)
予算決算委員会	(2回)
議会運営委員会	(7回)
議会改革特別委員会	(1回)
議員連絡協議会	(2回)

令和8年9月定例会の日程

8月28日(金)	10時	本会議(初日)
9月8日(火)	10時	一般質問
9月9日(水)	10時	一般質問
9月11日(金)	10時	文教民生委員会
9月14日(月)	10時	産業建設委員会
9月15日(火)	10時	総務企画委員会
9月16日(水)	10時	予算決算委員会
9月25日(金)	10時	本会議(最終日)

編集後記

5月臨時議会で議長と副議長が新しく選ばれ、常任委員会や特別委員会の構成も一部変わりましたが、編集委員会は昨年のメンバーで担当します。6月の定例会会期中には、メモリアル施設の候補地選定が振り出しに戻る発表もあり、課題が多い中でも、市政をわかりやすくお届けできるよう、話し合いを重ね紙面づくりを進めています。皆さまからのご感想やご意見を、議員や議会事務局にお寄せいただけると幸いです。

